

◆編集後記

図書館の利用法に詳しくなると、特急のように最短時間で図書を探せるようになります。でも、時には途中下車のように、使ったことがないコーナーに行ってみるのも、出会いや発見がありますよ。(情報サービス担当 Saito)

「トショカンの舞台裏」の人ですが(笑)、図書館にやってくる新入生みなさんがフレッシュで、見かけるたびに元気をもらっています。分からないことがあったら、いつでも聞いてくださいね。(雑誌情報担当 Suda)

「へば図書館さ行ぐべ」は今回で最終回です。ご愛読ありがとうございました。前のお話が気になる方は、弘大図書館ホームページから豊泉のバックナンバーをどうぞ。(参考調査担当 Maru)

弘前大学附属図書館報「豊泉」 第55号

発行日：令和4年5月31日

発行：弘前大学附属図書館

編集：弘前大学附属図書館広報委員会
〒036-8560

青森県弘前市文京町1

TEL 0172-39-3162

FAX 0172-39-3171



◆◆◆◆◆図書館員ちょこっとコラム◆◆◆◆◆

寒い雪の季節が終わり、春が来ました。このように季節の移り変わりの時期になると、私には決まって訪れたい場所があります。それは手芸店です。

というのも、私の趣味はモノづくりで、創作の材料探しのための店巡りが私の一年を通してのお決まり行動なのですが、(実は弘前、手芸店が意外にも多いこと皆さんご存じでしょうか?お店によってこだわりが商品や雰囲気に出ていて面白いですよ!)特にこの時期の生地売場は心躍ります。厚手で色味も暖色系多めだったラインナップから、薄手のパステルカラー調へ変わる様は、文字通りとても華やかです。今の時代はネットショッピングがやはり便利なので、もちろん私も利用はするのですが、リアル店舗へ出向くことが私にとっては欠かせません。なぜかというと、実際にたくさんの品を目にし、その中から吟味することが、私にはまるで宝探しのように感じられて好きだからです。それにお店なら、お目当てのもの以外の品にも触れることができるので、視野や興味の幅も広がられます。そして極め付けは、「あれ?こんなものもあったのか!」とこれまで気付かなかった発

見が何かしらあること、これがとても楽しいのです。おそらく私は、入手目的や季節感とともに、この感覚を得られるから、頻りに足を運ぶことがやめられないのだと思います。人それぞれにそう感じる空間があるかと思いますが、私にとっての手芸店のように、この図書館が、多くの人のそんな存在になることができればなと思っています。

春は私にとって、図書館ガイダンスで新入生の方々と出会う季節でもありません。だから私のこの時期の目標は、「このガイダンスでまず図書館の存在を知ってもらい、少しでも多くの方に実際に来館していただく!」です。これからお逢いする皆さんのパワーに負けないよう、この文章を書きながら自身に気合を入れているところです。そして「また寄ってみよう」と思ってもらえるよう、利用時に分からないことがあった時に声がかけやすいスタッフであることを今年も意識していようと思います。

これまで来ている方も、これからの方も、皆さんのご利用を今年度もお待ちしておりますね。

(あさだ ちえ)

【弘大図書館公式 twitter】

弘大図書館に関する情報を発信しています。お気軽にフォローしてみてくださいね。「#弘大図書館」のハッシュタグで、「弘大図書館のここが好き!」「弘大図書館でやってほしいこと」「豊泉読んだ」などのご意見・ご感想を募集中!



@HirosakiUnivLib

【弘大図書館ホームページ】

2022年3月、弘大図書館ホームページをリニューアルしました。より見やすく、知りたい情報にたどり着きやすいようになりましたので、ぜひご活用ください。

<https://ul.hirosaki-u.ac.jp/>



図書館ホームページ